

玉水・水無区 実質化された京カ農場プラン

市町村名	地域名 (該当集落名)		当初作成年月	更新年月
井手町	玉水・水無区	玉水 水無	平成28年3月	令和4年3月

1 対象集落（地域）の現状

a	地区内の耕地面積	16.00 ha
b	アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	11.70 ha
c	地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計	4.60 ha
	i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.20 ha
	ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	ha
d	地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.50 ha
e	地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	ha
(備考)		

2 対象地区の課題

<p>耕作面積のうち約4割を75歳以上の農業者が所有しており、耕作者ベースではもっと多い。準工業地の農地も多く、それら農地はほ場が整備され、耕作しやすいが近年工場地等への転用が図られている。町外所有者の農地は放棄地となる傾向があり、それら農地から鳥獣の侵入が見られる。経営規模が小さく自家消費生産が多く、地域農業者も高齢化が進み、ほ場が整備されている農地は農地の借り手がある。</p> <p>アンケート結果では後継者は地区農地面積の2割分しかおらず、担い手の確保が急務である。米の機械を一式持っている農家が6戸ある。</p>
--

3 対象地区内における中核的担い手（中心経営体）への農地の集約化に関する方針

<p>現時点で地区内に明確な中核的担い手が存在していない状況である。離農者が発生した場合、地区外からの担い手、新規就農者等の活用等により、農地が耕作放棄地となる前に農地として利用できるよう対応していきたい。</p>
